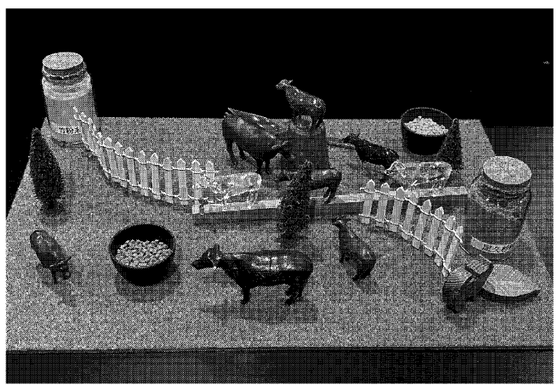
千葉県発　環境企業特集

環境保全と経済成長の両立を

国連の持続可能な開発目標（SDGs）や、カーボンニュートラル（温室効果ガス〈GHG〉排出量実質ゼロ）の達成に向け、社会を挙げたさまざまな取り組みが進んでいる。このような社会の要請に、未利用資源の活用や環境への負荷を低減する商品・技術、資源リサイクルなどで対応しようとする企業が増えている。不確実性の高い時代の中でも、環境保全と経済成長の両立に挑戦する千葉県に拠点を持つ中堅・中小企業の取り組みを紹介する。

リファインホールディングス

未利用資源材の用途開発を加速


プラスチックのような精密成形性を有する

リファインホールディングス（HD、東京都千代田区、川瀬泰人社長）は、未利用資源を主成分としたバイオ成分が100％のバイオマスコンパウンドの用途開発を加速する。数十種類の未利用資源が活用できることが確認できたことから、分解しても一切有害な成分を発生しない特徴を生かし、農業や漁業資材の開発を進める。

さらにプラスチックのような精密成形性があるなど機能を最大限に発揮し、幅広い産業で普及させる方針だ。

このほど杉や竹、ヒノキ、コーヒーのかすに加え、ワカメやトウモロコシ、オリーブ、サザエやアワビ、カキの貝殻などの未利用資源も使用可能なことが分かった。

杉や竹など100％バイオ成分

今後もさまざまな未利用資源の可能性を探り、地産地消ネットワークの構築を目指す。

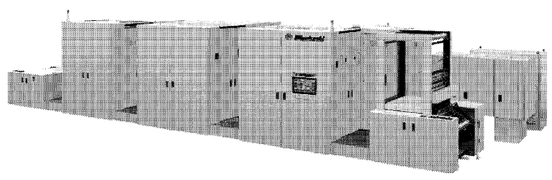
このバイオマスコンパウンドは石油など地下資源由来の成分を一切使用しておらず、100％バイオマスからできている。

すでに猫用トイレやハンガーなどとして製品化。大手清涼飲料水メーカーから引き取った原料の出し殻を主成分としたバイオマスコンパウンドで、その企業の記念グッズを製造する計画も進んでいる。

＜企業情報＞
リファインホールディングス株式会社
〒100-0005
東京都千代田区丸の内2-2-1 岸本ビル11F
TEL：03－3201－3357
FAX：03－3201－3322

ミヤコシ

水性インクで環境配慮と生産性向上を実現


オペレーターへの負担も軽減し、現場改善につながる

ミヤコシ（千葉県習志野市、宮腰亨社長）は、軟包装向けの水性インクジェットプリンター（IJP）のラインアップを拡充した。

水性インクは油性インクよりも揮発性有機化合物（VOC）の発生が少なく、印刷機オペレーターの健康や環境への影響を軽減できる。

新型機は最大印刷幅を1050ミリメートル、最大用紙幅を1100ミリメートルに拡大した。

印刷速度や解像度は従来機と同等に保ちつつ、広幅化により絵柄の面付け自由度を向上し、フィルムの無駄を減らす。

大ロット印刷対応の水性フレキソ印刷機や、先ラミ表刷りなど特殊用途向けのEB（電子線）オフセット印刷機と合わせて、軟包装産業を支える印刷方式として提案を強化する。

3方式の印刷機でロット別対応

センタードラム（CI）型水性フレキソ印刷機は毎分200メートルの高速印刷で生産効率が良いうえ、水性インクで環境にも配慮した。

EBオフセット印刷機はランニングコストの低さや製版工程の時間短縮と簡易性を訴求する。

これらの印刷機を、10月7日－10日に東京ビッグサイト（東京都江東区）で開かれる包装総合展示会「JAPAN PACK 2025」で紹介する。

＜企業情報＞
株式会社ミヤコシ
〒275-0016
千葉県習志野市津田沼1-13-5
TEL：047－493－3854
FAX：047－493－3071

ネステック

非水銀式ギアレス温度計で環境負荷低減

熟練技能者が若手を指導する

ネステック（千葉県習志野市、月岡周郎社長）は、工業用の非水銀式ギアレス温度計を手がける。まず温度計の内封液である水銀が漏れ出すのを防ぐため、振動と衝撃に強いギアレス型にした。次に水銀は健康被害や環境汚染を引き起こす懸念があるため、独自に内封液のブレンドを確立して非水銀式にした。

ギアレスと非水銀の両立は大きなメリットがある。マイナス200－600度Cと厳しい環境で使用可能となり、液化天然ガス（LNG）のプラント関連から船舶エンジン用を中心に普及。部品点数が約60から約40点に減少することで、故障しにくくなるとともに、製造時の二酸化炭素（CO_2）と産業廃棄物の削減にもつながる。

結果として社会を挙げて取り組む国連の持続可能な開発目標（SDGs）や、カーボンニュートラル（温室効果ガス〈GHG〉排出量実質ゼロ）に対応する商品となった。

技能者の多能工化を推進

本社工場では技能者の多能工化を進めており、月岡社長は「我々は温度・圧力計関連のスペシャリストであり、今後も計測の高みを目指す」としており、新商品の開発を積極的に進める方針だ。

＜企業情報＞
ネステック株式会社
〒275-0024
千葉県習志野市茜浜1-12-1
TEL：047－453－1182
FAX：047－453－0727

センエー

映像作品が完成　創業90周年に向けて

短編映画の制作発表会

都市・環境整備業を手がけるセンエー（千葉市稲毛区、山本剛社長）は、2026年4月に創業90周年を迎えるにあたり、地域への感謝と未来への思いを込めた映像作品「ライフライン☆デイズ」を完成させた。9月27日に千葉市美浜文化ホールで開いた本編上映会には関係者含めて約250人が集まった。

同月28日から同社の特設ウェブサイト、動画投稿サイト「ユーチューブ」などで本作品を公開している。これは全編を同市で撮影して、同市で生きる若者の成長と葛藤を描いた約20分間の短編映画。同社が守り続けてきた〝見えない支え〟と〝未来を生きる人々〟の姿が重なり、企業活動の根幹にある〝地域との共生〟を映像化したもの。「キミたちの想いが街を、社会を変える。」とメッセージ性の高い作品となっている。

下水道管路メンテで地域と共生

同社は千葉県の水環境保全に取り組む企業で、現在注目されている下水道管路メンテナンスに注力しており、点検・調査・補修改築工事のすべての業務を自社で担っている。社会インフラのメンテナンスを通じて安心して生活できる社会に貢献している。

＜企業情報＞
株式会社センエー
〒263-0042
千葉県千葉市稲毛区黒砂2-12-11
TEL：043－241－3156
FAX：043－247－5670

Eプラン

強アルカリイオン電解水で超音波洗浄

Eプラン（千葉県船橋市、松澤民男社長）は、強アルカリイオン電解水「SAIW」を超音波で振動させて部品や金型を自動洗浄する装置を開発した。ワーク（加工対象物）全体を洗浄槽に漬けて行うため、細部まで洗浄できるのが特徴だ。早ければ2025年内に販売する。これまでの同電解水を噴射する装置とともに、金属加工業者向けの洗浄装置市場を深耕していく。

45度Cに加熱した強アルカリイオン電解水を洗浄槽に注ぎ、その同電解水に超音波で振動を与えながら、ワークを洗浄する仕組み。このほど開発した試作機は最大で幅と奥行き500ミリメートル×高さ300ミリメートルまでのワークに対応している。

ワーク全体を洗浄槽に漬けて行うため、細部まで洗浄できる

小型で複雑な形状の精密部品や金型などの洗浄工程での使用を想定しているが、松澤社長は「洗浄するワークの大きさに応じて仕様変更できる」と積極的に需要を掘り起こす。

同電解水は錆の原因である塩化ナトリウムを含んでいない。また使用する同電解水の水素イオン指数（pH）は12・5または13・1と強力な酸化還元力がある。そのため洗浄に加え、防錆対策も同時に可能になる。

同時に防錆対策も可能に

＜企業情報＞
株式会社 Eプラン
〒273-0014
千葉県船橋市高瀬町31-6
TEL：047－404－9240
FAX：047－404－9241